

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市西多賀児童館		
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団		
3 指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和6年度 24,157人(前年度比 114.9%) ・令和5年度 21,020人 ・令和4年度 18,836人		
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業		
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 40,255千円 (43,463千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、地域懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシートで確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	31/31
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、こども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、市民センターのホールを活用した運動遊びや工作遊びなど遊びの充実が図られており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
令和6年度の西多賀児童館は「安心・安全の確保」「健康・情操の育成」「主体性の尊重」を重点項目として推進しました。また、子どもたちの成長と一緒に考え、支えるという視点から、保護者の皆様や学校とのつながりを大切にしました。さらには、地域の児童館として、各団体の皆様との連携や協働も進めました。これらの取組は、たくさんの方々のご理解とご協力をいただきながら、現在も一步一步着実に進んでいます。 児童館事業の具体的取組としては、児童健全育成事業の一例として「ホールで遊ぼう」があります。市民センター併設の利点を生かし、広い室内空間を活用して、放課後児童クラブの子どもたちが希望する遊びを実現させることで、主体性を育むことを目指してきました。今後は、ホールの利用回数を増やし、更に多様な遊びを経験できるようにしていきます。また、子育て家庭支援事業の一例として、「子育て支援クラブ」や「うぶごえ座」の協力をいただき、他館と共催した「乳幼児期からの性教育講座」があります。これまで知らなかった貴重なお話をお聞きすることができ、保護者の皆様の反響も大きかったことから、今後も継続して開催する準備を進めています。さらに、地域交流推進事業では、児童館まつりをはじめ、ハロウィンパレード、西多賀チアーズ、防災講座、読み聞かせなど、様々な活動で地域の各団体にご協力をいただき、放課後児童クラブの子どもたちや、乳幼児と保護者の皆様が地域の方々と交流できる機会を積極的に設けてきました。特に、放課後児童健全育成事業の一環でもあり、日赤宮城県支部や同西多賀奉仕団の協力で開催した防災講座は、知識のみならず、クイズや段ボールベッドの組み立て体験など、多様な角度から防災・減災を体感できるもので、その様子はテレビや新聞でも報道されました。 今後も、子どもたちを中心に「みんなのための児童館」づくりに努めてまいります。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
児童健全育成事業においては、月に1度市民センターの体育館を活用して運動遊びを通した心身の健康増進に努めるとともに、簡単なルールのある遊びや集団遊びを異学年で楽しむために、職員が遊びに加わってサポートしている。その他ヒップホップやチアダンスを通した近隣の高校生との交流や、ボッチャを通した障害のある方との交流等、こども達に様々な体験の場を提供し自主性や社会性を育んでいる。 子育て家庭支援事業においては、0歳児親子対象の「あかちゃんタイム」は、ベビーマッサージや季節の行事等多様なプログラムを提供し、遠方からの参加者やリピーターも多く、児童館デビューのきっかけとなっている。また子育て支援クラブや助産師の協力のもと、「おうちで伝えたい大切な性のおはなし」を近隣の児童館と連携して開催し、参加者から好評を得るなど、地域の関係機関との協力体制のもと子育て家庭を支援している。 地域交流推進事業においては、乳幼児親子対象の「ハロウィンパレード」を開催して地域の商店街を巡り、地域とのつながりを持てるように支援した。またSBL西多賀女性防災リーダーの協力を得て小学生向けの防災講座を開催し、紙芝居や非常食作り等、学年に合った内容で楽しく防災について考え学ぶ機会を提供している。 放課後児童健全育成事業においては、高学年児童を中心に夏休みの遊びやお楽しみ会等の企画・運営している他、ふれあい祭りのボランティア活動等、企画の段階からこどもの意見を反映させる機会を設けて主体的に生活できるように支援している。また児童クラブの卒業生が自由来館で訪れ、こども会議に参加して意見を述べたり、遊びを通して日常的な交流が図られている。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課